

Q & A コーナー

ここでは、例年高女の学校説明会などで寄せられる、中学生や保護者の方からの質問の一部を紹介します。

Q：前期選抜の総合問題は、どのように勉強したらいいのでしょうか？

A：総合問題とはその名の通り総合的な知識を問う問題ですが、まずは中学校で習う各教科の勉強にしっかり取り組むことです。しかし教科書にあることをただ覚えるのではなく、「どうしてそうなるのか」、「つまりどういうことなのか」等の視点を普段から持って勉強に取り組むことが大切です。その視点は高女入学後に必要となるものです。本校の Web ページに昨年度の問題と解答を掲載していますので参考にしてください。

Q：コースと進路関係について教えてください。

A：1年次に類型の希望を取り、2年次から文系(I類)、理系(II類)に分かれます。文系は英語や国語や社会などの授業が多くなり、卒業後は文学部、法学部、経済学部など人文科学系や社会科学系に進学する生徒が多いです。理系は数学や理科の授業が多くなり、医学部、薬学部、理学部など医療系や自然科学系に進学する生徒が多いです。教育系にはどちらからも多数が進学します。令和3年度は、2学年、3学年ともに文系4クラス、理系3クラスです。どちらにも複数の選択科目があり、可能な限り生徒の進路志望に沿った学習ができるようにしています。

Q：他校と比較したときの高女の魅力は何ですか？

A：高女は、100名以上が現役で国公立大学に合格する高校でありながら、県高校総体で総合優勝を過去12回果たしています(直近は令和元年度)。文化部も複数の部が全国大会に出場しており、学校行事などもとても盛り上がります。つまり、「勉強を頑張って将来の夢を叶えたい。でも部活動にも入りたいし、学校行事も友達と楽しみたい。」という生徒が多く、それが上記の成果につながっています。これが高女の伝統であり、高女の魅力でもあります。みなさんも、この伝統を受け継ぐ一人になってください。

Q：高女グローバル研修 in USAについて教えてください。

A：12月に、9泊11日の日程でボストンやニューヨークに行きます。現地で語学研修を受けたり、高女OGの方と交流したりします。定員40名に対し例年1.5倍ほどの希望があり、選抜試験(英語力テストと面接)を行っています。45万円～50万円ほどの費用がかかります。なお、令和2年度、3年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止となりました。

Q：女子高という点に少し不安があるのですが、学校や生徒の雰囲気はどんな感じですか？

A：まず言えるのが、「真面目な生徒が浮かない学校」です。真面目で何事にも一生懸命取り組みたい人には、とても生活しやすい学校と言えます。また、「多様性を認め、他を尊重する生徒たちの学校」とも言えます。勉強一筋の人、部活動にハマっている人、アイドル好きの人、アニメ命の人など色々な個性の人がいますが、互いに多様性を認め他を尊重しあえる生徒が多いので、みな楽しく女子高ライフを送っています。

Q：高女生の一日の生活はどんな感じですか？

A：部活動に入っている生徒が多いので、放課後部活動をしてから帰る人が多いです。3年生で部活動を引退すると、学校の自習室で勉強をしてから帰る人も大勢います。学校が開くと同時(朝7時)に登校して、自習室や図書室で1時間半ほど勉強してから SHR(8:35)に向かう生徒も結構います。

Q：勉強と部活動との両立は可能ですか？

A：活動日の多い部に入っているだけでも学年の上位に入る人は大勢います。3年の秋に部活動を引退しても、現役で国立大に合格する人は大勢います。要は本人の努力次第ですが、両立のコツは、とにかく授業を大切にすることです。

Q：どれくらいの生徒が部活動に入部していますか？

A：9割以上の生徒が部活動に所属しています。複数の部活動を兼部している人や、生徒会本部役員も担いながら活動している人もいます。

Q：部活動には朝練がありますか？

A：部によります。定期的に行っている部もあれば、普段はなく、大会の前だけ朝練を行う部もあります。中間考査、期末考査の1週間前から部活動は休みになるので、この期間は朝練もなくなります。

Q：入学した後、勉強について行けるか心配です。

A：この質問(相談)は毎年とても多いです。確かに、授業の早さは中学とは比べものにならないと思います。内容もとても濃いです。ですから、毎日必ず復習をしてください。できれば予習も。その教えを忠実に守った結果、入学後最初の試験で下位だった人で現役で国立大に合格した人は何人もいます。「案ずるより産むが易し」です。

Q：教育方針は何ですか？

A：一つに、「グローバル社会でリーダーとして活躍できる人材の育成」があり、学習面に限らず豊かな人間性の育成も教育目標にしています。

Q：授業の様子はどんな感じですか？

A：授業は真剣勝負です。志望校合格の最短ルートは、授業を大切にすることです。「授業を制する者は受験を制する」です。授業終了後に生徒からの質問を受け、先生がなかなか職員室に戻れないという光景は、多くの教室で頻繁に見られます。

Q：費用について、毎月どのくらいかかりますか？

A：現在授業料は月 9,900 円ですが、就学支援金の申請をして認定を受けるとこの料金はかかりません（多くが認定を受けています）。他に、各学年ごとに一括徴収金（教材費等）があり、令和3年度は次の通りです。
1 学年：119,200 円 2 学年：88,600 円 3 学年：128,430 円
この額を、3回（4・5・6 月）に分けて集金します。修学旅行費は、旅行者に直接支払います。

Q：補習にはどのようなものがありますか？

A：主に次の4つです。

①土曜講座

1, 2 年生全員を対象としており、授業で学習した内容の基礎を固めるとともに、さらに理解を深めることを目的としています。令和3年度は8回を予定しています。（9 月、10 月、12 月、1 月、各 2 回午前中に実施）

②早朝課外

平日の 7:30 から始まる希望者の補習です。国語・数学・英語の基礎講座や発展講座など、自分の理解度に合わせて受講できます。

③夏季講座・冬季講座

夏休みと冬休みに行うもので、全員対象の講座と希望者対象の講座があります。

④放課後課外

3年生の希望者を対象とした補習です。理科・社会を中心とした大学入試に向けた実践的な演習講座です。

この他、生徒のニーズに応じて適宜行っている補習もあります。また3年生には、補習とは別に添削指導もしており、毎年多くの3年生が指導を受けています。

Q：通学方法について教えてください。

A：令和3年4月1日現在の在校生 842 名の通学方法は次の通りです。
徒歩:56 名, 自転車:429 名, バス:7 名, 電車:334 名, その他:16 名
電車の場合、高崎問屋町駅からだと徒歩、高崎駅からだと自転車を使用する生徒が多いです。自宅↔最寄り駅、高崎駅↔高女で自転車を2台使用する生徒も大勢います。

Q：バッグや靴の指定はありますか。

A：バッグや靴の指定はありません。靴は革靴とスニーカーが半々くらいの割合です。華美でないものに限ります。バッグは多くの教材を入れるため、大きめのリュックタイプを使っている人が多いです。

Q：携帯電話やスマートフォンの持ち込みは大丈夫ですか。

A：通学中のアクシデントなどで必要になることもありますので、持ち込むのは可能です。しかし、登校後は電源を切ってバッグにしまうルールとなっています。

Q：購買はありますか。

A：あります。高女を愛するおばちゃんが、毎日パンを販売してくれます。また、校内には自動販売機もあります。

Q：マラソン大会や水泳の授業はありますか？

A：マラソン大会はありませんが、体育の授業で持久走はします。プールがないので水泳の授業はありません。

Q：先生方の様子を教えてください。

A：学習面、進路指導面、部活動指導面、精神的なサポート面などなど、学校生活すべての面において生徒を支える教師集団です。意外と、面白い人が多いですよ。本当かどうかは、先輩に聞いてみてください。